

経営基本計画 成果指標の解説（事業目的、目標値の設定理由など）

	指標名	R1実績	R3目標値	指標の解説
水道	鉛製給水管率（％） （合併3町は含まない）	6.0%	5.0%	鉛給水管更新計画（H21～R3）※ ¹ に基づいて目標値を設定しております。 ※計画は中長期財政見通しに基づいて策定しております。
	管路の更新進捗率（％）	75.3%	100%	水道施設整備実施計画（H21～R3）※ ² に基づいて目標値を設定しています。経営基本計画期間内のみの進捗を目標にしているため、目標値は100％です。 ※計画は中長期財政見通しに基づいて策定しております。
	有効率（％）	90.4%	94.0%	熊本県水道ビジョンで示されている95％（H35）を目標にしています。 ※配水池から送り出された水に対する有効利用の割合を表しています。漏水や不明水が多いと有効率が下がるため、経営の効率性や配水管・給水管の健全性を示します
	普及率（％）	95.8%	97.0%	第6次拡張事業（H22～R10）※ ³ に基づいて目標値を設定しております。なお、水道の未普及解消事業についてはR5年度に完了予定です。 ※計画は中長期財政見通しに基づいて策定しております。
	管路の新設進捗率（％）	90.6%	100%	第6次拡張事業（H22～R10）に基づいて目標値を設定しております。経営基本計画期間内のみの進捗を目標にしているため、目標値は100％です。 ※計画は中長期財政見通しに基づいて策定しております。
	配水池貯留能力（日）	0.99	維持	水道施設整備実施計画（H21～R3）に基づく適切な能力の維持を目標にしています。 ※計画は中長期財政見通しに基づいて策定しております。
	水質基準達成率（％）	100%	100%	安全で安心な水道水を提供するため、水質検査計画（毎年度）※ ⁴ に基づいて全ての水質検査において常に法令で定められた基準を達成しています。
	水質検査実施率（％）	111%	100%	水道法で定められた検査回数を実施することを目標としており、例年100％以上の実績があります。
	災害対策用貯水量（m ³ ）	61,450	68,000	熊本市民74万人が一週間に必要とする飲料水の量を確保することを目標にしています。 ※災害発生から最初の3日間で3L/人、残りの4日間で20L/人の水が必要になります $74万人 \times \{ (3L \times 3日) + (20L \times 4日) \} = 65,860m^3$
	耐震適合性のある基幹管路の割合（％）	78.0%	82.0%	第6次拡張事業（H22～R10）及び水道施設整備実施計画（H21～R3）で実施する基幹管路の新設及び更新・耐震化の進捗状況に基づいて目標値を設定しています。 ※計画は中長期財政見通しに基づいて策定しております。

経営基本計画 成果指標の解説（事業目的、目標値の設定理由など）

	指標名	R1実績	R3目標値	指標の解説
水道	配水池耐震施設率（％） （H28年度から合併3町を含む市内全域）	91.2%	92.9%	第6次拡張事業（H22～R10）及び水道施設整備実施計画（H21～R3）で実施する配水池等の新設及び更新・耐震化の進捗状況に基づいて目標値を設定しています。 ※計画は中長期財政見通しに基づいて策定しております。
	被災した上水道管路の復旧延長（km）	4.4	4.4（R1）	熊本市上下水道事業震災復旧復興計画（H28～R1）※ ⁵ に基づいて、4年間で熊本地震からの復旧を完了させることを目標にしています。
	被災した水道施設の復旧施設数（施設）	40	40（R1）	熊本市上下水道事業震災復旧復興計画（H28～R1）に基づいて、4年間で熊本地震からの復旧を完了させることを目標にしています。
	耐震適合性のある基幹管路の割合（％）	78.0%	80.0%（R1）	熊本市上下水道事業震災復旧復興計画（H28～R1）の期間内における第6次拡張事業（H22～R10）及び水道施設整備実施計画（H21～R3）の進捗状況に基づいて目標を設定しています。 ※計画は中長期財政見通しに基づいて策定しております。
	既存の貯水機能付給水管の改良数（箇所）	28	28（R1）	熊本市上下水道事業震災復旧復興計画（H28～R1）に基づいて、既存のすべての貯水機能付給水管を応急給水活動に活用できるよう改良することを目標にしています。
	地下水涵養量（万㎡）	1,326.3	1,400	熊本地域では取水量の1割を目安に地下水かん養に取り組むこととしており、H29実績値（1,317万㎡）から上昇し取水量の1.7割（≒1,400万㎡）を達成することを目標にしています。
	水道水をそのまま飲む人の割合（％）	52.5%	57.0%	熊本市第7次総合計画（H28～R5）※ ⁶ に掲げている60%（R5）を達成するため、基準値である50%（H27）から毎年1.25%の上昇を目標にしています。
	残留塩素濃度から見たおいしい水要件達成率（％）	100%	100%	旧厚労省が示した「おいしい水」の要件の一つである残留塩素濃度0.4mg/L以下を達成することを目標にしています。※法令の定めにより0.1mg/L以上を保つ必要があります
	企業債残高・水道（億円）	331	334	経営基本計画に合わせて策定した中長期財政見通しに基づき、残高が増加しないよう元金償還の範囲内で借り入れる（年間約17億円）ことで計画的に削減することを目標にしています。
	営業収支比率（水道）（％）	123.2%	113.9%	経営基本計画に合わせて策定した中長期財政見通しに基づき、計画期間中毎年度の黒字を目標としているため、100%を上回る目標としています。

経営基本計画 成果指標の解説（事業目的、目標値の設定理由など）

	指標名	R1実績	R3目標値	指標の解説
下水道	水道事業会計 純損益 （百万円）	2,730	1,761	経営基本計画に合わせて策定した中長期財政見通しに基づき、計画期間中毎年度10億円以上の黒字を目標としています。
	下水道普及率 （％）	89.9%	96.1%	熊本市公共下水道全体計画（～H40） ^{※7} に基づいて目標値を設定しています。なお、合併処理浄化槽等での処理を含めて100%になるため、整備完了時に下水道普及率は96.1%になります。 ※計画は中長期財政見通しに基づいて策定しております。
	浄化センター、ポンプ場の施設機器の更新率（％） （合併3町は含まない）	89.3%	100% （H30）	下水道施設長寿命化計画（H25～H29） ^{※8} 及びストックマネジメント計画（H30～R1） ^{※9} に基づいて目標値を設定しています。経営基本計画期間内のみの進捗を目標にしているため、目標値は100%です。
	水洗化率 （％）	97.3%	97.0%	基準値である96.6%（H23）から毎年0.04%の上昇を目標としており、将来的には100%を目指します。
	管路耐震化率 （％）	38.6%	38.3% （R2）	下水道総合地震対策計画（H25～R2） ^{※10} による耐震化及び整備事業による下水道管路の新設・更新の進捗状況に基づいて目標値を設定しています。 ※計画は中長期財政見通しに基づいて策定しております。
	ポンプ場及び浄化センター耐震対策実施率（％）	29.9%	30.0% （R2）	下水道総合地震対策計画（H25～R2）による耐震化及び整備事業による下水道施設の新設・更新の進捗状況に基づいて目標値を設定しています。 ※計画は中長期財政見通しに基づいて策定しております。
	重点6地区の対策率（％）	58.7%	58.7%	熊本市下水道浸水対策計画（H21～R5） ^{※11} に基づいて目標値を設定しております。 ※計画は中長期財政見通しに基づいて策定しております。
	被災した下水道管路の復旧延長（km） （1.2kmは詳細検査で工事不要）	46.2	47.4（R1）	熊本市上下水道事業震災復旧復興計画（H28～R1）に基づいて、4年間で熊本地震からの復旧を完了させることを目標にしています。
	被災した下水道施設の復旧施設数（施設）	23	23（R1）	熊本市上下水道事業震災復旧復興計画（H28～R1）に基づいて、4年間で熊本地震からの復旧を完了させることを目標にしています。
	耐震化済み下水道管路延長（km）	1,015	979（R1）	熊本市上下水道事業復旧復興計画（H28～R1）の期間内における下水道総合地震対策計画（H25～R2）進捗状況に基づいて目標を設定しています。 ※計画は中長期財政見通しに基づいて策定しております。

経営基本計画 成果指標の解説（事業目的、目標値の設定理由など）

	指標名	R1実績	R3目標値	指標の解説
下水道	マンホールトイレの設置基数（基）	190	140（R1）	熊本市上下水道事業復旧復興計画（H28～R1）の期間内における下水道総合地震対策計画（H25～R2）進捗状況に基づいて目標を設定しています。 ※R11までに下水道計画区域内の小・中学校及び防災拠点の126施設（630基）に整備します。
	再生水の利用水量（万㎡）	861	継続実施	浄化センターへの流入水量に依存するため継続して実施することを目指しています。
	汚水処理率（％）	96.6%	99.1%	熊本市公共下水道全体計画（～H40）及び本市環境部局で行う合併処理浄化槽の普及事業、農業集落排水での汚水処理状況に基づいて目標を設定しています。 ※実績値の内89.9%（＝下水道普及率）が下水道事業によるものです。
	消化ガスの利用率（％）	77.4%	86.9%	消化ガス発電やボイラー等での有効利用を行っており、H29に導入した消化ガス発電設備での利用量を含めた計画値の達成を目標にしています。
	高度処理施設整備進捗率（％）	14.6%	77.2%	東部浄化センターにおける高度処理施設の整備のR5年度一部供用開始を100%として、予算の執行率で目標を設定しております。
	企業債残高・下水道（億円）	1,343	1,306	経営基本計画に合わせて策定した中長期財政見通しに基づき、建設改良事業に充てる企業債の発行を60億円以下とすることで計画的に削減することを目指しています。
	経常収支比率（下水道）（％）	111.5%	107.3%	経営基本計画に合わせて策定した中長期財政見通しに基づき、計画期間中毎年度の黒字を目標としているため、100%を上回る目標としています。
	下水道事業会計 純損益（百万円）	2,129	1,259	経営基本計画に合わせて策定した中長期財政見通しに基づき、計画期間中毎年度10億円以上の黒字を目標としています。
上下共通	危機管理研修延時間（時間）	1,620	維持	訓練内容を見直しながら、基準値（H23:1,487時間）を維持することを目指しています。
	自然エネルギーの発電量（千kWh）	6,135	4,674	熊本市低炭素都市づくり戦略計画 ^{※12} に基づく進捗及び、過去の実績に基づく数値（H28:4,482千kWh）を上回ることを目標にしています。

経営基本計画 成果指標の解説（事業目的、目標値の設定理由など）

	指標名	R1実績	R3目標値	指標の解説
上 下 共 通	研修受講率（％）※算出方法変更	96.1%	100%	職員の育成によりお客さまの信頼を確保するため、全職員が年間10回以上の研修を受講することを目指しています。
	上下水道事業に関する住民説明会の開催数（回）	53	90	上下水道事業への理解促進のため過去実績の最高値である90回（H25）を目指しています。
	ホームページアクセス数（人）	576,509	600,000	恒常的なツールとして利用されるホームページのアクセス数の上昇を目指しています。 ※H29中間見直し時の最高値は556,847人（H26）です。
	お客さまからのご意見数（件）	419	350	各種アンケート等を通じてお客さまの意見を抽出するため、過去実績（H29：365件）を維持することを目指しています。
	国際交流延べ人数（人）	25	基準より増加	国外からの視察等を積極的に受け入れ、基準値（H23：11人）から上昇することを目指しています。

- ※1 鉛給水管更新計画 厚生労働省の水道ビジョンに基づき、事故の防止と有効率の向上のため老朽化した鉛製給水管を早期に解消する
- ※2 水道施設整備実施計画 厚生労働省の水道ビジョンを踏まえ、安定供給やサービスの持続、強靱化を目的に施設の効率的な更新や適正な延命化を実施する
- ※3 第6次拡張事業 水需要の予測や熊本地震の教訓を生かしつつ、主に合併町における施設の再編成や未普及地区の解消に取り組み市全域での機能強化を図る
- ※4 水質検査計画 水道水が水道法の水質基準に適合し、安全であることを保障するために定期・臨時検査を実施する
- ※5 熊本市上下水道事業震災復旧復興計画 熊本市震災復興計画（H28～R1）と整合を図り、熊本地震で被災した上下水道施設の早期復旧や復興への取組等を示している
- ※6 熊本市第7次総合計画 熊本市の最上位計画として整理したもので、本市の目指す「上質な生活都市」を実現するための取組等を定めている
- ※7 熊本市公共下水道全体計画 生活環境の改善や公共用水域の水質改善のために実施する公共下水道の整備計画であり、整備区域や汚水量を定めている
- ※8 下水道施設長寿命化計画 老朽化した管きょ、浄化センター・ポンプ場の更新など効率的な維持管理を実施する
- ※9 スtockマネジメント計画 下水道施設長寿命化計画を引き継ぎ、施設等の効率的な維持管理を実施する
- ※10 下水道総合地震対策計画 大規模地震が発生した際に下水道施設の最低限の機能を確保するため、施設の耐震化やバックアップ対策等を併せて整備する
- ※11 熊本市下水道浸水対策計画 過去の浸水実績から早急に対策を実施すべき重点対策6地区を定め、バイパス貯留管や調整池などによる浸水対策を実施する
- ※12 熊本市低炭素都市づくり戦略計画 熊本市の地域特性を活かした地球温暖化対策について、短期・中期・長期の取組を定めている